



President's message

アイデアの交換や提携を行い、お互いのクラブを知り、また地域社会にも広めていきましょう。

ロータリーに成長が必要だということは誰もが同意するところですが、時に、数値だけにとらわれてもっと大切なことを見失ってしまうことがあります。せっかく会員数が増えたとしても、翌年にその会員たちが退会してしまっただけでは意味がないのです。ロータリーを持続的に成長させましょう。活動の参加形式にいろいろな選択肢があれば、会員は参加し続け、ロータリーが他団体とは違うことが地域

ロータリアン、ローターアクター、そして友人の皆さん
世 界的なパンデミック（感染爆発）が起こったり、社会正義を求める声が高まるなど、2020年は歴史的な変化の年です。世界は常に変化し続けていて、ロータリーもその世界を反映していることに気付かされます。

私たちは奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップという中核的価値観を常に大切にしながら、耳を傾け、適応する準備をしなければなりません。こういった価値観を生活の中に取り入れ、全ての局面において「四つのテスト」を実践していけば、どんな時代でも世界を導くことができます。

私はロータリーがパンデミックに直面しても、その適応能力を示せたことを誇りに思っています。ロータリーは立ち止まることはありませんでした。会合をオンラインに変え、奉仕の新しい方法を見つけました。ホノルルでの国際大会を中止し、初のバーチャル国際大会を開催しました。例会は、従来の対面式に加えて、スマホやパソコンを使ったオンライン方式でも行われています。ロータリーは今も、これからも、いつでも、つながりを求める人々がつながることを可能にします。

「オンラインと対面式の会合をどちらも活用しているのが今は特にありがたい」という声もあります。この動きをさらに発展させて、ロータリーが今後も躍進するために変化を取り入れていくためにどうすればよいでしょうか。

新しい種類のクラブを支援することがその鍵となると私は思います。こういったクラブはもはや実験的なものではなく、今日のロータリーの一部になっています。従来のクラブに加えて、Eクラブ、衛星クラブ、ローターアクトクラブ、活動分野に基づくクラブ、パスポートクラブがあります。こうしたクラブが加わることで、ロータリーはこれまで以上に開放的で、柔軟で、新会員にとって魅力的な団体となっています。これらのクラブにメイクアップして、

社会に分かってもらえます。規則にこだわるよりも、さまざまな方法で集うことにロータリーが重点を置くようになったことを喜びましょう。

自分たちが仲間の会員のためにできることを実行しているかどうか、そして奉仕する地域社会の状況をクラブが反映しているかどうかを問い、そして答えを見つけるために、各クラブは年に1度戦略会議を開催しましょう。国際的なレベルでもこのようなアプローチを採っています。今年度は国際ロータリー（R I）理事会で過去最多の6人の女性が理事を務めています。どのレベルにおいても、変化を押し進めていきましょう。ロータリーが今後発展していくためには、これまで以上にさまざまな視点と多様性が必要となります。

今年度、そしてそれ以降も、変化に迅速に適応し続けるための方法を模索する試みを想像すると胸躍る気分です。しかし、私はロータリーの変わらない部分、今後も変わらずにあり続ける部分からもインスピレーションを得ています。それは、友情、ネットワーク、倫理、そして奉仕です。これらこそ、ロータリーの魅力なのです。

ロータリーの創始者ポール・ハリスがかつて言ったように、時には革命的にならなければいけないこともあります。今がまさにその時です。中核的価値観を守りつつも、変化を取り入れてより強固な存在になるために、ロータリーは機会の扉を開きます。それこそ無限に。

HOLGER KNAACK

2020-21年度 国際ロータリー（R I）会長

ロータリーの友
 Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

原文（英語）はこちらから